

文京三中だより



教育目標 自ら考え、進んで学ぶ人 思いやりのある、心豊かな人 ねばり強く、心身ともにたくましい人

文京区立第三中学校 〒112-0003 東京都文京区春日1-9-31

電話 03-3814-2554 FAX 03-5689-4556 HP <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/daisan-jh/>

～ ルールとマナー ～

校長 阿部 昭彦

早いもので入学式から1か月がたち、1年生も随分中学校生活に慣れてきたようです。また、2・3年生も上級生としての行動が見えてきました。

さて、この1か月生徒の行動から「マナー」について考えることができました。

新入生歓送迎会のとき、私は体育館前方左側に立ち全生徒の様子を見ていました。その時私の前を生徒が横切りました。その生徒は腰を低くし私の前を横切ったのでした。

廊下で生徒とすれ違う時に、何人かの生徒が足を止め、「こんにちは」と大きな声であいさつをしてくれました。

ドアを開けようとしたときに、反対側に生徒がいました。私は生徒を先に通そうとして「どうぞ」と声をかけましたが、その生徒は「校長先生、お先にどうぞ」と言い、通路を確保しながらドアの横に立ちました。

上の3つの話は当たり前といえば当たり前なのかもしれませんが、生徒のそんな行動を見て、私はたいへん清々しい気持ちになりました。

ルール（規則）は、ある一定の集団が生活を行うにあたり、その集団の全員が安心して生活を行うためにあるものです。したがって、ルールを守らず、周囲に迷惑かけることは、当然許されないことです。現在の第三中学校の生徒の学校生活を見たとき、大半が、きちんとルールを守り、学校生活を送っており大変嬉しく思っています。

では、マナー（礼儀）は、どう考えたらよいのでしょうか。私は、「マナーはルールではなく、相対する人・物・事を大切に作る心の表れであり、行為である」と考えています。したがって、その人の心（内面）が表に表れる行為がマナーだと思います。マナーのよい人の心はどのようにして育つのでしょうか。私は、マナーのよい人の心を裏付けるのに「強い心」や「柔軟な心」や「感謝する心」などが存在するような気がしています。「強い心」は、例えば、部活動や学習などにおいてきつくなっても、まずは辛抱して頑張り通すことにより育ってくる心ではないかと考えます。「柔軟な心」は、いろいろな人とコミュニケーションをとる中で、いろいろな物の考え方を知ること。そして、そうした考え方を認める努力をすること等によって育ってくる心ではないかと考えます。また、人は一人では生きていけないという大前提のもと、自分を支えてくれている人達へ「感謝する心」をもつことも大切なことであると思っています。

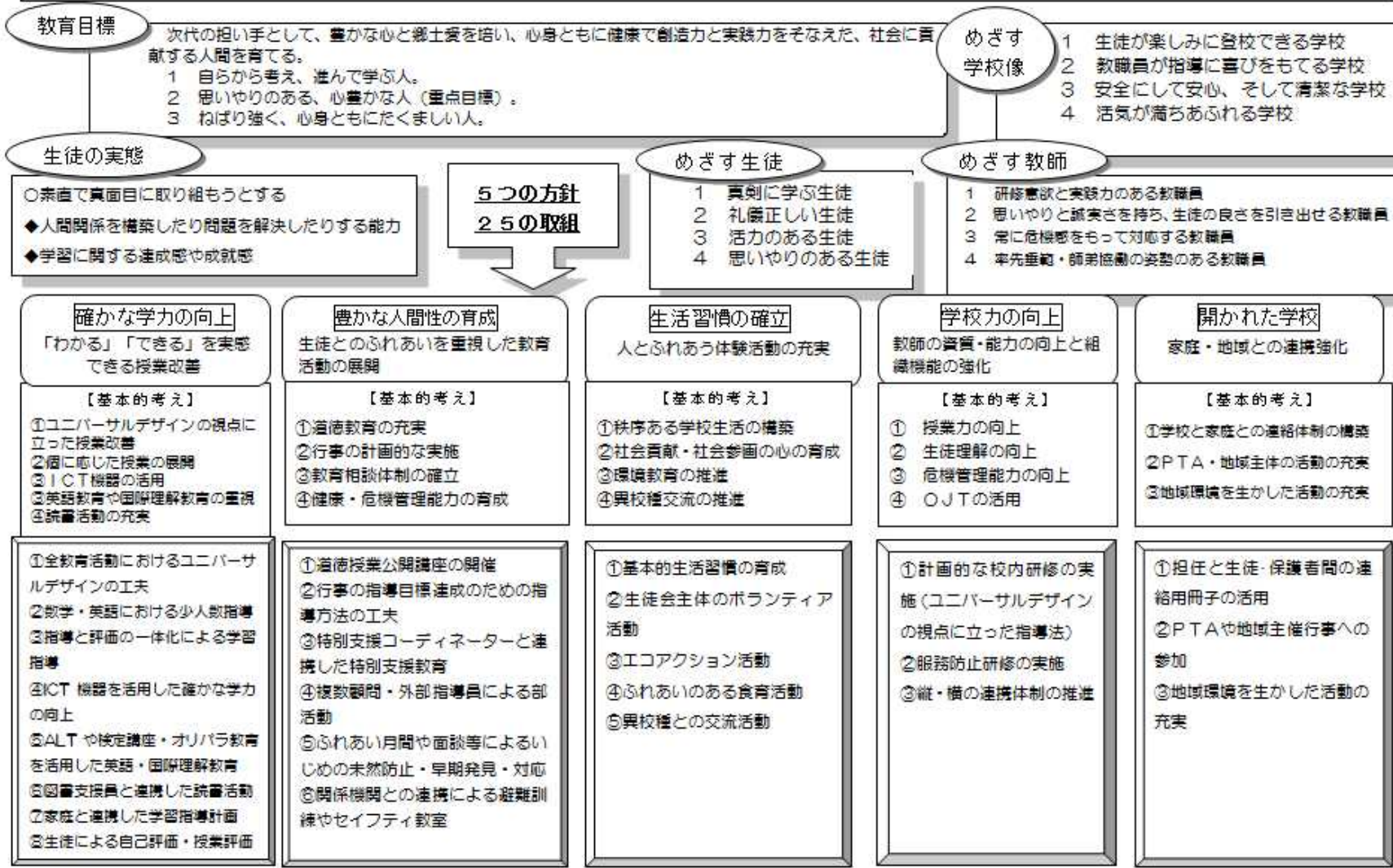
このように考えてくると、マナーの基本は、相手を大切に思う心であり、具体的には、相手を尊重する話し方や行動の仕方を身につけていくことではないかと思えます。きちんとルールが守れている第三中学校の生徒の皆さんには、どこの中学校と比べても負けないマナーのよい中学生の集団を目指してほしいと願っています。

「いのちと人権を考える月間」

いじめを生まない、許さない学校づくりを進めるため、いじめに関する生徒の理解を深めます。文京区教育委員会は、このための取組として、「いのちと人権を考える月間」（5月・12月）の実施、「ふれあい月間」（6月・11月・2月）の実施、道徳授業地区公開講座の実施等を通じて生徒に対していじめは絶対許されない行為であることを自覚するよう促します。（文京区いじめ防止対策推進基本方針より）

平成29年度 文京区立第三中学校 学校経営計画の概要

校長 阿部 昭彦 平成29年4月1日



教科の授業地区公開講座のご案内
 5月13日(土)8時25分～11時20分まで教科の授業地区公開講座を実施します。三中生の授業の様子やユニバーサルデザインの視点に立った授業をご覧ください。